

子育ての悩みに寄り添う絵本
子育てと絵本 vol.39

こんな時こんな絵本 その11 「もうすぐ小学生 大丈夫かなあ 心配だなあ」

友だちでできるかな、長く座っていられるかな。小学校という新しい生活。親も子も、楽しみや期待がある中でも不安や心配、未知への怖さもあることでしょう。昔から皆このような気持ちを抱えてきました。

絵本「1ねん1くみの1にち」。登校から始まる子どもたちの姿を写真で表現しています。学校の日常を描いた絵本の子どもたちの表情や仕草を見ることで、さまざまな不安が心地よい緊張感と期待感に変わりそうです。子どもたちの豊かな学校生活に感動すら覚えます。

「いちねんせい」。せんせいが わたしのなまえをよびました、せんせいは なかよくしようといいました。せんせいも ともだちが ほしいのかな—谷川俊太郎氏の豊かな言葉の世界が広がります。クスツとして、ほんわかした気持ちになる言葉を親子一緒に楽しむことができます。時代を超えて子どもたち、そして大人にも愛されてきたロングセラー詩集です。谷川氏は子どもの心にも大人の心にも響く素敵な詩を数多く残されました。

これら2冊の絵本は、一枚一枚の写真から、そして一つ一つの詩から、子どもたちの些細なつぶやきが豊かに広がって聞こえてきます。時代を経ても変わらないものがあることに

安堵し、穏やかな心情に浸ることができます。心をゆさぶられ温かさを感じる絵本たちです。

子どもたちは新しい学校生活に緊張しています。安心できる場所の家に帰り、ぐったりダラダラするかもしれません。その姿に、学校で大丈夫なのかなと気になることもあるでしょう。子どもを見守りましょう。子どもの「ねえ聞いて、聞いて」に、顔を見て子どもの声を聞きましょう。

お父さんお母さんの一年生の時の思い出なども話してあげるといいですね。子どもは親の幼少時の話を聞くのがとても好きです。聞くことで安心もします。

小学生になっても絵本を読んであげたいものです。子どもは親との空間を楽しみ、親の声を聞きながら、安心感の中で感性を育んでいきます。

今回ご紹介する絵本



1ねん1くみの1にち
川島 敏生 写真・文
アリス館



いちねんせい
谷川 俊太郎 詩
和田 誠 絵
小学館

子育てひろっぱ「めぐみ」代表 弘田 恵子

1998年から20年間高知市内の「めぐみ保育園」で園長を務め、現在は妊娠中からの悩みサポートを行う。助産師、看護師、保育士、幼稚園教諭(二種)。絵本専門士(国立青少年教育振興機構認定)。朗読指導者(公財 文字・活字文化推進機構認定)。上級睡眠健康指導士。アンガーマネジメントファシリテーター